



1日におよそ2万m<sup>3</sup>を運び出すことができる巨大ベルトコンベアの建設工事が進む。完成は2014年3月を予定（撮影：2013年9月）

「奇跡の一本松」にほど近い陸前高田市の中心部で、巨大な“橋脚”が姿を現し始めた。新たな幹線道路をつくらうというわけではない。山から平地部に大量の土を運び出すためのベルトコンベアを架けるための橋の架台だ。新しく高台に住宅地をつくるための造成工事で発生する大量の土砂を、このベルトコンベアを使

って運び出し、今後平地部で進めるかさ上げ工事に利用するのだ。

驚くのはその施設の規模。ベルトの幅は1.8m、最長部は800mに及び、土を運び出す仮置き場まで、枝分かれさせながら約3kmを張り巡らせる。1日に運び出せる土の量はおよそ2万m<sup>3</sup>。工事のスピードアップを図れるだけでなく、市内を走る工事車両を減らして、交通事故や交通渋滞のリスクを極小化する。

2014年3月に完成し、稼働を始める予定。まちづくりで培ってきた知恵と工夫が、復興を加速させる。